

事業名	大宇陀南部線運行事業	
所管課	企画課（総務部）	
事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	
	区分	No.
	款	2
	項	1
	目	4
細目	23	大宇陀南部線運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	運行委託料	4,000	分担金	
	燃料費	1,035	使用料	950
	消耗品	80	国費	
	タイヤ代	101	県費	
	車両修繕	50	市債	
	車検代	118	その他	420
	保険料・重量税	151	一般財源	4,165
	合計	5,535	H23 予算額	5,535
事業の成果	平成21年度において、延べ3,802人の利用(1日平均10.6人)		前年度 予算額	5,841
			増減額	▲ 306
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図る。		特定財源の状況	
			バス使用料	950千円
備考			地元協力金	420千円

事業名	榛原大野線運行事業	
所管課	企画課 (総務部)	
事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	
	区分	No.
	款	2
	項	1
	目	4
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	運行委託料	3,400	分担金	
	燃料費	728	使用料	636
	消耗品	80	国費	
	タイヤ代	101	県費	
	車両修繕	50	市債	
	車検代 (バス・予備車両)	436	その他	
	保険料・重量税	205	一般財源	4,536
	駅構内使用料	172	H23 予算額	5,172
	合計	5,172	前年度 予算額	4,895
		増減額	277	

事業の成果	平成21年度において、延べ1,571人の利用(1日平均6.5人)	特定財源の状況
	平成22年度より3往復より5往復と増便したことにより、利便性の向上	
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図る。	バス使用料 636千円
備考		

事業名	地域公共交通活性化再生協議会(デマンド型乗合タクシー運行事業)
-----	---------------------------------

所管課	企画課 (総務部)
-----	-----------

事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上
-------	-------------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	室生区において、室生北部線、室生南部線、診療所バスを休廃止し、デマンド型乗合タクシーを運行する。
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	4,584
一般財源	4,635
H23 予算額	9,219
前年度 予算額	11,400
増減額	▲ 2,181

事業の成果	平成22年12月末までに延べ3,421人が利用(1日平均18.6人) 利用者の45%が70歳以上の高齢者 ドアツードアのデマンド型乗合タクシーにより、公共交通空白地域の解消
-------	--

特定財源の状況	
協議会清算金	4,584千円

事業の目標	公共交通空白地域の解消、高齢者等交通弱者の利便性の向上
-------	-----------------------------

備考	
----	--

事業名	奈良交通路線バス運行補助	
-----	--------------	--

所管課	企画課（総務部）	一般会計予算
-----	----------	--------

事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上	
	区分	No.
	款	2 総務費
	項	1 総務管理費
	目	4 企画費
細目	3 代替バス運行事業費	

根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっていることから、赤字路線について民間バス事業者に運行経費の補助を行う。		財源の内訳	
	分担金			
事業の概要	使用料			
	国費			
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,419		
	H23 予算額	4,419		
	前年度 予算額	6,000		
	増減額	▲ 1,581		
	事業の概要	奥宇陀線上内牧系統 4,000千円		
事業の概要	桜井菟田野線 419千円 (国県のバス運行対策補助金の条件を満たすための運賃収入引き上げ補助)			

事業の成果	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与	特定財源の状況
-------	--	---------

事業の目標	民間バス路線の維持確保
-------	-------------

備考	
----	--

事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業	
-----	-----------------	--

所管課	企画課 (総務部)
-----	-----------

事業の目的	市民の移動手段の確保、利便性の向上
-------	-------------------

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱
-------	--------------------------

総合計画	基本計画 第3章第3節 公共交通機関の充実
------	-----------------------

事業の概要	<p>三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張錦生地域が主体となり、ほっとバス錦運営協議会において、名張～室生龍口間を運行されるほっとバスに対し補助を行う。</p> <p>名張市補助 3,000千円 宇陀市補助 500千円</p>
-------	---

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	500
H23 予算額	500
前年度 予算額	500
増減額	0

事業の成果	平成22年10月末において、宇陀市内の利用が35%を占めている。 (チケット枚数)
-------	--

特定財源の状況

事業の目標	バス路線の維持確保
-------	-----------

備考	
----	--

事業名	過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)	
-----	----------------------	--

所管課	菟田野地域事務所地域市民課 (部)	一般会計予算
-----	--------------------	--------

事業の目的	菟田野区内公共交通廃止路線を宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり、地域市民の生活路線として確保をするための補助。	
	区分	No. 区分名
	款	2 総務費
	項	1 総務管理費
	目	4 企画費
細目	40 菟田野地域事務所企画費	

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実

事業の概要	平成23年度予算積算概要		財源の内訳	
	分担金		分担金	
	過疎地有償運送事業補助	1,710	使用料	
	合 計	1,710	国 費	
			県 費	
			市 債	
			その他	
			一般財源	1,710
			H23 予算額	1,710
			前年度 予算額	1,560
			増減額	150

事業の成果	日3便の運行で一日平均乗客数3.3人、年間800人が利用し、主に高齢者世帯の買い物や病院への利用がほとんどで、市街地以外での地域では無くてはならない生活の重要な交通手段となっています。	特定財源の状況
-------	--	---------

事業の目標	高齢化世帯の増加に伴い、地域の生活路線の確保。
-------	-------------------------

備 考	
-----	--

事業名	宇陀市立病院建設事業
-----	------------

所管課	健康増進課 病院建設室 (健康福祉部)
-----	---------------------

事業の目的	宇陀市立病院は、単なる老朽化による建て替えだけでなく、安心できる医療環境づくり、また将来にわたって安定した医療を提供するための効率的な運営並びに今後訪れる超高齢社会の医療需要に対応できる病院整備を行い、全ての市民が豊かに安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりを目指すものである。
-------	---

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	病院費
細目	3	病院建設費

根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画 第2章第2節 地域医療体制の充実

事業の概要	<p>全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 A=8,915.65㎡ ○建物概要 既存改修建物(北館) 延面積 A= 4,381.50㎡ 増築建物(新本館) 延面積 A=11,938.84㎡ <hr/> <p style="text-align: right;">合計 延面積 A=16,320.34㎡</p> <p>規模構造 鉄筋コンクリート造(PC造) 地上7階・地下1階</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病床数 一般病床 176床 ○診療科目 15診療科 ○医療機器整備 等 ○医療情報システム整備
-------	--

財源の内訳	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	174,300
その他	
一般財源	90
H23 予算額	174,390
前年度 予算額	376,250
増減額	▲ 201,860

事業の成果	全ての市民が、健康で安心して地域に住み続けられるまちづくりを行う。
-------	-----------------------------------

特定財源の状況
合併特例債 174,300千円

事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会の医療需要に対応できる機能的な病院整備を行う。 ・高度・専門医療等の充実を図るとともに、医療機関相互の連携強化により、地域医療ネットワーク体制の構築を推進する。 ・経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指す。 ・医療機器・設備の整備を図り、医療水準の維持・向上に努める。
-------	--

備考	
----	--

事業名	働く世代への大腸がん検診推進事業				
所管課	健康増進課 (健康福祉部)		一般会計予算		
事業の目的	大腸がんは、年間の罹患者数10万人、死亡者数4万人とわが国に多いがんである。特に、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、自宅にいながら検査を受けられるように、検査キットを郵送により対象者に送付し、回収して検査を行うものであり、受診率の向上と大腸がんの早期発見・早期治療を図る。		区分	区分名	
			款	4	衛生費
			項	1	保健衛生費
			目	4	健康づくり費
			細目	1	本庁老人保健健康づくり費

根拠条例等	国の平成23年度予算 がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「働く世代への大腸がん検診推進事業」	財源の内訳	
	計画年度 平成23年度 計画の概要 市内に在住する40歳から60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、自宅に検査キットを郵送し、採便した後、郵送で回収し、検査をする。 (働き盛りの方の、面倒・時間がない・受診場所まで遠いの解消) 事業費 3,004千円 (委託料 1,924千円) (事務費 1,080千円)	分担金	
事業の成果	働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの方を対象としており、受診率の低い大腸がん検診を、自宅にいながら検査を受けることができることにより、受診率の向上につなげ、早期発見に役立つ。	使用料	
		国費	1,501
事業の目標	大腸がんの治癒率は70%、早期であれば100%近く完治するといわれており、何よりも早期発見が第一である。検診に行く時間のない方も自宅にいながら検診を受けることができるので、受診率の向上に役立ち、早期発見をすることができる。	県費	
		市債	
備考		その他	
		一般財源	1,503
		H23 予算額	3,004
		前年度 予算額	0
		増減額	3,004
		特定財源の状況	
		働く世代への大腸がん 検診推進事業補助金 1,501千円	

事業名	女性特有のがん検診推進事業			
所管課	健康増進課 (健康福祉部)			
事業の目的	がん検診の中でも受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)で5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。			
			一般会計予算	
			区分	区分名
			款	4 衛生費
			項	1 保健衛生費
目	4 健康づくり費			
細目	1 本庁老人保健健康づくり費			

根拠条例等	国の平成23年度予算 がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「女性特有のがん検診推進事業」	財源の内訳	
	計画年度 平成23年度 計画の概要 受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)で5歳刻みの方に、クーポン券等送付し、無料で検診を受けていただく。 事業費 4,773千円 (委託料 乳1,965千円 子宮1,814千円) (事務費 994千円)	分担金	
事業の成果	この事業については、受診率の低い女性のがん検診について、平成21年度の国の経済危機対策の一環として、新規事業として実施している。 受診率 子宮がん検診 平成20年度 15.5% 平成21年度 16.4% 乳がん健診 平成20年度 16.8% 平成21年度 20.1%	使用料	
		国費	2,386
事業の目標	女性特有のがん検診における受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持及び増進を図る。	県費	
		市債	
備考		その他	
		一般財源	2,387
		H23 予算額	4,773
		前年度 予算額	4,990
		増減額	217
		特定財源の状況	
		女性特有のがん検診推進 事業費補助金 2,386千円	

事業名	その他のがん検診の推進事業					
所管課	健康増進課 (健康福祉部)					
事業の目的	宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物(がん)・2位心疾患3位肺炎となっており、がんの早期発見のためにも検診は最も重要であり、市民にがん検診の機会を提供し、健康保持・増進に努める。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費				
細目	1	本庁老人保健健康づくり費				

根拠条例等	がん対策基本法
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	「その他のがん検診推進事業」		財源の内訳	
	・事業費 20,907千円		分担金	
	大腸がん検診	3,056千円	使用料	
	胃がん検診	6,064千円	国 費	
	子宮がん検診	4,218千円	県 費	
	乳がん検診	3,926千円	市 債	
	肺がん検診	2,520千円	その他	3,181
	前立腺がん検診	1,123千円	一般財源	17,726
事業の成果	市民にがん検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、検診の機会を提供する。		H23 予算額	20,907
			前年度 予算額	24,443
			増減額	3,536
			特定財源の状況	
			雑入(自己負担) 3,181千円	
事業の目標	受診率向上のために受診勧奨に努め、がんの早期発見・早期治療を促し、市民の健康保持・安心のために、広く受診機会を提供する。			
備 考				

事業名	妊婦健康診査事業					
所管課	健康増進課 (健康福祉部)					
事業の目的	妊婦の健康診査の一層の徹底を図るため、妊婦健康診査を実施し、妊婦と胎児の健康管理の向上を図る。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費				
細目	2	本庁母子保健健康づくり費				

根拠条例等	母子保健法第13条
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

事業の概要	<p style="text-align: center;">「妊婦健診事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 20,125千円 <ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査 委託料 17,500千円(県内医療機関) 妊婦健康診査 補助金 2,625千円(県外医療機関) <p>母子手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴りを発行し、健診時に健診費用として医療機関へ支払う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査補助券綴り 基本券14枚・追加券20枚(1枚2,500円券) 	財源の内訳	
		分担金	
		国費	
		県費	6,900
		市債	
		その他	
		一般財源	13,225
		H23 予算額	20,125
		前年度 予算額	21,250
		増減額	1,125

事業の成果	妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。	特定財源の状況	
事業の目標	近年急速に進む少子化を防ぐためにも、妊婦が安心して健診を受け、出産ができるように、健診費用を助成し、妊婦と胎児の健康管理に努める。	妊婦健康診査事業補助金 6,900千円	
備考			

事業名	みんなの体操会開催事業	
-----	-------------	--

所管課	生涯学習課（教育委員会事務局）	一般会計予算
-----	-----------------	--------

事業の目的	市政5周年記念事業として、NHKラジオ夏期巡回ラジオ体操を招き、ラジオ体操を通して体操やスポーツへの関心を高めるとともに、健康増進に努め自らの体力維持や向上への意欲を高める。		
	区分	No.	
	区分名		
	款	9	教育費
	項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費	
細目	1	本庁保健体育総務費	

根拠条例等	
-------	--

総合計画	基本計画 第4章第5節 スポーツ・レクリエーションの充実 市民全体のスポーツ・レクリエーション活動の支援
------	--

事業の概要	平成23年度積算概要		財源の内訳	
	参加記念品	240	分担金	
印刷費	147	使用料		
送迎バス委託料	647	国 費		
その他	209	県 費		
合 計	1,243	市 債		
		その他		
		一般財源	1,243	
		H23 予算額	1,243	
		前年度 予算額	0	
		増減額	1,243	

事業の成果		特定財源の状況

事業の目標	参加目標 1,000人 NHKラジオを通じて宇陀市を発信していく。
-------	--------------------------------------

備 考	
-----	--

事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金					
所管課	生涯学習課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	宇陀の豊かな自然の中で、市民をはじめ参加する方々の健康の維持増進を目指し、お互いの交流と親睦を図るとともに、宇陀市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。					
				一般会計予算		
				区分	区分名	
				款	9	教育費
				項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費				
細目	1	本庁保健体育総務費				

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第4章第5節 スポーツ・レクリエーションの充実 市民全体のスポーツ・レクリエーション活動の支援

事業の概要	平成23年度積算概要 宇陀シティマラソン補助金 1,600	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	1,600
		H23 予算額	1,600
		前年度 予算額	1,600
		増減額	0
事業の成果	第3回宇陀シティマラソン(H21年度) 参加者 走者 約1,600人 ボランティアスタッフ 約350人 宇陀の特産品のPR・販売 宇陀市内観光施設のPR	特定財源の状況	
事業の目標	「走ろう宇陀! ふれあう心」をスローガンにランナーやボランティアスタッフの参加者全てがマラソン大会を通じて交流し、親睦を図り宇陀市の一体感を醸成していくとともに、全国から集まる人たちに宇陀市をPRし発信していく。		
備考			